

TURNITIN

2022年6月1日

作成者：mg。マルコス・ウォルター・アコスタ・モンテドーロ氏

Turnitinは、テキストとインターネット上で公開されている他のテキストとの類似性を比較するために使用されるソフトウェアです。言い換えれば、テキストが前記ソフトウェアに入力される場合、それは前記テキストをインターネット上に存在する他のものと比較する。インターネットの外部にあるもの、つまり、本や雑誌などの物理的なテキスト、またはpdfや単語などの仮想的なテキストがインターネット上で公開されていないテキストは認識されません。ソフトウェアによって。

たとえば、物理的なテキストとして公開され、デジタル化されてWebポータルに投稿されたAlternative Tales of Ozというテキストは、Turnitinソフトウェアによって認識されます。別の例として、Mandram's Alternative Talesと呼ばれるテキストは、ライブラリ内の物理的なテキストとして検出され、デジタル化されたりWebポータルに投稿されたりしたことがないため、Turnitinソフトウェアでは認識されません。さらに、デジタル化されているがインターネットに投稿していない個人または組織に属するJicunda's Alternative Talesと呼ばれるテキストも、Turnitinソフトウェアによって認識されません。

上記のテキストのテキストスニペットがインターネット上の一部のテキストで見つかった場合、それらがTurnitinソフトウェアによって認識されることは明らかです。

したがって、Turnitinは盗用を測定しないソフトウェアです。ソフトウェアで見つかったものとインターネットで見つかったものとの間のテキストの類似点。Turnitinの測定値は、類似性のパーセンテージとして表されます。

Turnitinは盗用を測定しないソフトウェアであるため、残念ながら、引用の有無にかかわらず、インターネット上にないテキストを検討して著作権を主

張できる悪意のある人々があります。たとえば、Perico elJericóという物理的なテキストがインターネット上で見つからず、悪意のある人物がそれをデジタル化して所有権を主張し、誰かがそのテキストの一部を引用した場合、Turnitinは、引用された内容に関係なく、盗用を認識しませんでした。 。したがって、Turnitinソフトウェアは盗用の測定には使用されず、一致、類似性のみを測定します。

一方、どのテキストでも、逐語的に引用されているか言い換えられているかに関係なく、Turnitinソフトウェアは、引用が次のように記述されている必要があるため、最初にその引用を認識することはできません。引用を除外したり、参考文献を除外したりするなどのフィルターを適用すると、Turnitinは類似性を認識する場合と認識しない場合がありますが、盗用を判断することはありません。

一方、2人以上の人が同じ単語を使用して同じアイデアを構成し、それらを注文することができます。それらのアイデアの1つがテキストとして記述されている場合、Turnitinソフトウェアは、それをおそらく1つ以上の他の完全に同一のテキストと不規則に比較し、これを盗用に帰する場合、あなたは完全に間違っているという類似性を示します。それは単なる類似性、偶然であり、それ以上のものではありません。

誤ってまたは意図的にテキストが誤って引用され、Turnitinソフトウェアが、実際の作成者を参照するインターネット上の別のテキストとの類似性としてテキストを検出する場合があります。この場合、Turnitinソフトウェアが盗用を検出したことが確認できますが、実際の作成者を確認するためにテキストを「手動で」比較する必要があるため、これはTurnitinソフトウェアの機能ではありません。したがって、盗用検出は、「自動化されていない」という意味で、常に「手動」プロセスになります。引用が誤って行われた場合、Turnitinソフトウェアは、それを適切に再構築するためのサポートとして機能します。つまり、正しい著者名は、通常、著者の名前とテキストの発行年で構成されます。ページ番号の配置はオプションです。

多くの国で、Turnitinソフトウェアは誤って「盗用防止」システムと見なされており、これが多様な論文の学生に特に害を及ぼしています。論文または論文プロジェクトのテキストに対応する引用があるかどうかを確認する手間を省くために、特にさまざまな大学で、Turnitinの使用を担当する多くの人は、上記のソフトウェアにテキストを入力するだけです。作品を受け入れるかどうかを決定するために、類似性のパーセンテージを確認することだけを参照してください。彼らの深い無知、判断力の欠如、またはしわの欠如の中でさえ、Turnitinの使用のそのような管理者の多くは、それがまったく真実ではないときに、盗作の存在に言及することをあえてします。この場合、確認できるのは、Turnitinの実際の機能に関する知識の欠如とその正しい使用法の欠如です。

Turnitinの結果の誤った管理または解釈のために、多くの論文の学生が見られたり、類似性の割合が最も低くなるまで、「言い換え」、「言い換え」、「言い換え」を余儀なくされたため、彼らの研究成果は教育機関に受け入れられました。

学術機関の代表者は、ある種の近視眼性を持っています-または彼らはそれを持っていないかもしれませんが-彼らは、最高度に言い換えられたテキストがそのような基礎となったテキストとは異なる著者を想定する可能性があることを警告しているようです言い換えると。したがって、テキストを最初に書いた人よりも言い換えた人の考えを反映するように言い換えれば、作者は言い換えた人を表していると簡単に言うことができます。今日、言い換えられた引用を含む科学論文や論文の出版物は何千もあります。 Turnitinソフトウェアは、「他の人のテキストを取得」し、真の作者の元の表現から完全に離れているように言い換える悪意のある人々を非常にサポートし、そのような悪意のある人々は著者であると主張します。このようにして、実際にはテキストが他の著者から入手された場合でも、多くの人が自分の著者としてデジタルブックを作成することさえできます。そしてTurnitinソフトウェアは、そのような犯罪行為のためにそれらをサポートしました。この場合、Turnitinソフトウェアは盗用の大きな味方であり、学術界や科学界にとって大きな危険です。

上記のすべてについて、Turnitinソフトウェアは盗用防止ソフトウェアではなく、最も優れた最も完璧な盗用の最良の味方であると言えます。

引用：

アコスタモンテドーロ、マルコス。（2022）。Turnitin。ペルー、リマ：エディトリアルレッドワールド。